

○会長就任あいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長 武井 郁郎

皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。県下3万4千有余名の消防団員の皆様には、各地でご活躍のこととご推察し、感謝申し上げます。

この度、令和2年6月10日の理事会において、公益財団法人長野県消防協会会長に選任をされました武井です。就任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

これまでに多くの諸先輩方が築き上げてきた、歴史と伝統を誇る長野県消防協会長の大役を考えた時、責任の重大さに身の引き締まる思いでございますが、その責を全うすべく副会長はじめとする役員の皆様、事務局のご協力を賜りながら全力でこの職を全うしますので宜しく願いいたします。

昨年、10月12日の令和元年東日本台風の接近、通過に伴い東日本の広範囲にわたり大雨、暴風、高波で甚大な被害となりました。特に雨量については関東甲信地方、東北地方の多くの地点で降水量の観測史上例を見ない記録的な豪雨となり、その影響で人的被害、河川の氾濫、土砂災害、住宅の浸水被害、道路の寸断などにより住民の生活に大きな影響が出ました。

長野県においても全県にわたり被害をもたらしました。人的被害においては県内で5名の尊い命が失われたことに対しご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様にはお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

この台風において全県各地の消防団員の皆様においては、県民の皆様の安全確保のために活動されたことに対して深く感謝と敬意を表します。被災しながらも住人の生命を守るため救助、避難誘導、警戒活動をして頂いた団員の皆様に感謝を申し上げると共に早期復興を心よりお祈り申し上げます。

県内の災害復興が徐々に進んでいる中、春を迎えたと同時に、新型コロナウイルスの拡大によって全世界が、外出自粛や密閉、密集、密接の3密を避け感染拡大防止に努めています。消防団活動においても、規律訓練、操法訓練、水防訓練、地震対策等あらゆる会議等が中止や延期となる中、

中信地方を中心に広い範囲で地震が相次いでいます。また、5月の台風1号の動きを見ますと九州地方に大雨を降らせてその後、東海、関東に沿って北上していきました。

これらの動向はどこで災害が起きてもおかしくない状況です。平成25年12月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づいて消防団が中核となり地域の皆さんの総力を結集して防災力を充実強化する、この趣旨に鑑み、長野県消防協会としまして安心安全な郷土をつくるため消防団活動がより安全で確実なものとなるよう努力してまいります。

さて、新型コロナウイルスの影響で、総務省消防庁及び日本消防協会主催による第27回全国消防操法大会、第62回長野県消防ポンプ操法大会、第29回長野県消防ラッパ吹奏大会が中止となりました。規律や士気の高揚、技術の向上にと目標を持って毎年行ってまいりました大会が、新型コロナ対策によって行われなくなったことは非常に残念なことではありますが、住民の生命、財産を守るためには消防団としては致し方ないと思います。

今後、新型コロナウイルスの2波3波が来ると予想もされていますので、感染予防を徹底して、長野県消防協会役員の皆様、各地区協会役員の皆様、そして3万4千有余名の消防団員の皆様と心一つにして、この難局を乗り越えて行きたいと思います。

結びに、長い間長野県消防協会の発展にご尽力を頂き、先日任期を終えられた評議員の皆様、宮下前会長様、副会長様はじめ、役員の皆様の益々のご発展をご祈念申し上げまして、就任のあいさつといたします。

令和2年6月10日